

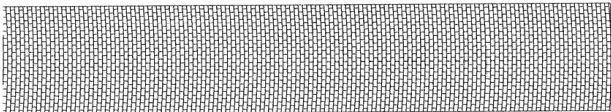
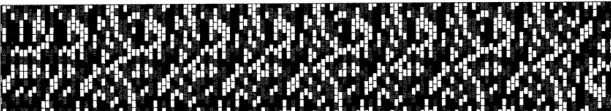
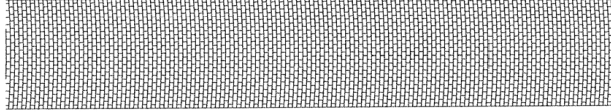
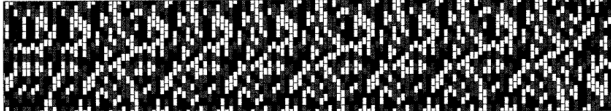
令和3年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）第VI編土木工事標準単価・市場単価  
 新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																														
<p>P.17</p> <p>第VI編 土木工事標準単価・市場単価</p> <p>第1章 土木工事標準単価</p> <p>④ 構造物とりこわし工</p>	<p>040701以降適用</p> <p>2-2 標準単価の規格・仕様・工法選定                      構造物とりこわし工の標準単価の規格・仕様・工法選定・日当り標準施工量は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 規格・仕様区分</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単 位</th> <th>工 法 選 定</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">無筋構造物</td> <td>機械施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>19 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td>人力施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。</td> <td>5.5 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋構造物</td> <td>機械施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>11 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td>人力施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。</td> <td>4 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械施工については、施工基面（機械設置基面）より上下5m以内の作業に適用する。                      2. 機械施工のための、施工基面（機械設置基面）造成（作業構台、盛土、掘削等）作業費用は含まない。                      3. 鉄筋を有する構造物は、鉄筋構造物を適用する。                      4. P・C・R・C橋上部、鋼橋床版は鉄筋構造物を適用する。                      5. <u>人力施工によるとりこわし作業に伴う破砕片の積込工法は、人力積込とする。</u></p> <p>2-3 補正係数                      構造物とりこわし工の補正係数の設定は、下記のとおりである。                      (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 低騒音・低振動対策</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">VI-1-④-2 17</p>	区 分	規格・仕様	単 位	工 法 選 定	日当たり標準施工量	無筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		19 m <sup>3</sup> /日	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	5.5 m <sup>3</sup> /日	鉄筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		11 m <sup>3</sup> /日	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	4 m <sup>3</sup> /日	規格・仕様	適用基準	記号	備考	補正係数 低騒音・低振動対策	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する	K <sub>1</sub>	対象数量	<p>2-2 標準単価の規格・仕様・工法選定                      構造物とりこわし工の標準単価の規格・仕様・工法選定・日当り標準施工量は、下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 規格・仕様区分</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単 位</th> <th>工 法 選 定</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">無筋構造物</td> <td>機械施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>19 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td>人力施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。</td> <td>5.5 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋構造物</td> <td>機械施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>11 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> <tr> <td>人力施工</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。</td> <td>4 m<sup>3</sup>/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 機械施工については、施工基面（機械設置基面）より上下5m以内の作業に適用する。                      2. 機械施工のための、施工基面（機械設置基面）造成（作業構台、盛土、掘削等）作業費用は含まない。                      3. 鉄筋を有する構造物は、鉄筋構造物を適用する。                      4. P・C・R・C橋上部、鋼橋床版は鉄筋構造物を適用する。</p> <p>2-3 補正係数                      構造物とりこわし工の補正係数の設定は、下記のとおりである。                      (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.2 補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補正係数 低騒音・低振動対策</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">VI-1-④-2 17</p>	区 分	規格・仕様	単 位	工 法 選 定	日当たり標準施工量	無筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		19 m <sup>3</sup> /日	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	5.5 m <sup>3</sup> /日	鉄筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		11 m <sup>3</sup> /日	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	4 m <sup>3</sup> /日	規格・仕様	適用基準	記号	備考	補正係数 低騒音・低振動対策	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する	K <sub>1</sub>	対象数量
区 分	規格・仕様	単 位	工 法 選 定	日当たり標準施工量																																																												
無筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		19 m <sup>3</sup> /日																																																												
	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	5.5 m <sup>3</sup> /日																																																												
鉄筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		11 m <sup>3</sup> /日																																																												
	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	4 m <sup>3</sup> /日																																																												
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																													
補正係数 低騒音・低振動対策	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する	K <sub>1</sub>	対象数量																																																													
区 分	規格・仕様	単 位	工 法 選 定	日当たり標準施工量																																																												
無筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		19 m <sup>3</sup> /日																																																												
	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	5.5 m <sup>3</sup> /日																																																												
鉄筋構造物	機械施工	m <sup>3</sup>		11 m <sup>3</sup> /日																																																												
	人力施工	m <sup>3</sup>	重機の使用できない狭い場所、部分的な搬しが必要な場合。	4 m <sup>3</sup> /日																																																												
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																													
補正係数 低騒音・低振動対策	対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する	K <sub>1</sub>	対象数量																																																													

令和3年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）第VI編土木工事標準単価・市場単価  
 新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧												
P.39 第VI編 土木工 事標準単価・市 場単価 第2章 市場単 価 ②インターロッキ ングブロック工	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>(2) ブロックの配置</p> <p>1) 直線的配置                      標準品を直線的に配置する。2色による色合わせを含む。</p> <p>2) 曲線的配置                      標準品を円形（半径10m以上で楕円、欠円含む）、波形等曲線的に配置する。2色による色合わせを含む。</p>  <p>3) 3色以上による色合わせ                      3色以上の標準品を使って模様（絵柄を含む）等にブロックを設置する場合に適用する。</p>  <p>(3) 敷材料の使用量                      敷材料は砂又は空練りモルタルとし、材料の使用量は次式による。                      イ) 砂・モルタル普通・モルタル高炉・再生砂の場合  <math>使用量(m^3) = 100(m^2) \times 敷材料の厚さ(m) \times (1+K)</math>                      K：ロス率（表3.1ロス率による）</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="638 949 840 1013"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂</td> <td>+0.29</td> </tr> <tr> <td>空練りモルタル</td> <td>+0.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 特殊品を使用する場合は、標準の市場単価から標準の一般部ブロック厚6cm（8cm）の材料費を差し引き設置手間をもとめ、特殊品の材料費を加算して適用する。（材料費の入れ換え）                      ただし、加算率・補正係数を適用させる場合は、標準の市場単価を補正した後、材料費を差し引くこととする。  <math>設置手間 = 厚6cm(8cm), 標準の市場単価 \times 加算率 \cdot 補正係数</math>  <math>- 厚6cm(8cm), 標準の材料単価 \times 1.02</math>                      特殊品設計単価 = 設置手間 + 厚6cm（8cm）, 特殊品材料単価 <math>\times 1.02</math></p> <p>(5) オリジナル品及びキャブ部の蓋部に連続して設置する場合は、材料費の入れ換えによる市場単価を適用しない。</p> <p>(6) 透水シート布設の有無に関わらず適用できる。ただし、透水シートの材料費は別途計上する。</p> <p>(7) 設置してあるインターロッキングブロックを撤去して、再使用する場合は、次式による。  <math>撤去(再使用)の標準の市場単価 \times 加算率 \cdot 補正係数 + 設置手間 + 新品材料(不足分)のロス</math>                      (注1) 再設置にあたり発生する材料のロスは新設と同様2%とする。                      (注2) 設置手間については、(4)の特殊品を使用する場合と同じとする。</p> <p>4. 施工コード                      SS000115 インターロッキングブロック工(設置)                      SS000117 インターロッキングブロック工(撤去再使用)                      SS000119 インターロッキングブロック工(撤去取壊し)</p> <p style="text-align: center;">VI-2-②-4 39</p>	材 料 名	ロス率	砂	+0.29	空練りモルタル	+0.14	<p>(2) ブロックの配置</p> <p>1) 直線的配置                      標準品を直線的に配置する。2色による色合わせを含む。</p> <p>2) 曲線的配置                      標準品を円形（半径10m以上で楕円、欠円含む）、波形等曲線的に配置する。2色による色合わせを含む。</p>  <p>3) 3色以上による色合わせ                      3色以上の標準品を使って模様（絵柄を含む）等にブロックを設置する場合に適用する。</p>  <p>(3) 敷材料の使用量                      敷材料は砂又は空練りモルタルとし、材料の使用量は次式による。                      イ) 砂・モルタル普通・モルタル高炉・再生砂の場合  <math>使用量(m^3) = 100(m^2) \times 敷材料の厚さ(m) \times (1+K)</math>                      K：ロス率（表3.1ロス率による）</p> <p style="text-align: center;">表3.1 ロス率</p> <table border="1" data-bbox="1606 949 1807 1013"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>ロス率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂</td> <td>+0.29</td> </tr> <tr> <td>空練りモルタル</td> <td>+0.14</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 特殊品を使用する場合は、標準の市場単価から標準の一般部ブロック厚6cm（8cm）の材料費を差し引き設置手間をもとめ、特殊品の材料費を加算して適用する。（材料費の入れ換え）                      ただし、加算率・補正係数を適用させる場合は、標準の市場単価を補正した後、材料費を差し引くこととする。  <math>設置手間 = 厚6cm(8cm), 標準の市場単価 \times 加算率 \cdot 補正係数</math>  <math>- 厚6cm(8cm), 標準の材料単価 \times 1.02</math>                      特殊品設計単価 = 設置手間 + 厚6cm（8cm）, 特殊品材料単価 <math>\times 1.02</math></p> <p>(5) オリジナル品及びキャブ部の蓋部に連続して設置する場合は、材料費の入れ換えによる市場単価を適用しない。</p> <p>(6) 透水シート布設の有無に関わらず適用できる。ただし、透水シートの材料費は別途計上する。</p> <p>(7) 設置してあるインターロッキングブロックを撤去して、再使用する場合は、次式による。  <math>撤去(再使用)の標準の市場単価 \times 加算率 \cdot 補正係数 + 設置手間 + 材料のロス</math>                      (注1) 再設置にあたり発生する材料のロスは新設と同様2%とする。                      (注2) 設置手間については、(4)の特殊品を使用する場合と同じとする。</p> <p>4. 施工コード                      SS000115 インターロッキングブロック工(設置)                      SS000117 インターロッキングブロック工(撤去再使用)                      SS000119 インターロッキングブロック工(撤去取壊し)</p> <p style="text-align: center;">VI-2-②-4 39</p>	材 料 名	ロス率	砂	+0.29	空練りモルタル	+0.14
材 料 名	ロス率													
砂	+0.29													
空練りモルタル	+0.14													
材 料 名	ロス率													
砂	+0.29													
空練りモルタル	+0.14													

令和3年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）第VI編土木工事標準単価・市場単価  
 新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																												
P.81 第VI編 土木工事標準単価・市場単価 第2章 市場単価 ④法面工 ④-2吹付枠工	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>④-2 吹付枠工</p> <p>1. 適用範囲                      本資料は、市場単価方式による吹付枠工に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲                      (1) 金網メッシュ、プラスチック段ボール等の自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を用い、鉄筋を含む吹付枠工。                      1-2 市場単価が適用出来ない範囲                      (1) 特別調査等別途考慮するもの。                      1) 法面垂直高さが45mを超える場合、又は、吹付けのホース延長が100mを超える場合。                      2) 梁の断面が正方形以外の場合。                      3) 基本外観形状が矩形（正方形、長方形）以外（三角形、台形、円形等）の場合（一部分のみが矩形以外の場合は除く）。                      4) 設計アンカー力が標準以外の場合。                      5) 梁断面150×150で主アンカーにロックボルトを使用する場合。                      6) 梁断面300×300以下でスターラップを配置する場合。                      7) ラス張工を枠内に部分的に施工する場合。                      8) ラス張工で菱形金網を使用しない場合。                      9) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。                      10) 夜間作業の場合。                      11) 逆巻き施工の場合。                      12) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定                      2-1 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付枠工 (SS000185)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ハンチの有無は問わない。                      2. 材料ロス及び現場内小運搬を含む。                      3. 目地については別途考慮する。                      4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。                      なお、必要な場合は別途計上する。</p> <p>VI-2-④-14 81</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラス張工 (SS000187)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラス張工（法面清掃）は全面張を標準とする。                      2. 材料ロス及び現場内小運搬を含む。                      3. 法面清掃とは、施工に先立ち行う簡易清掃及び補修を示す。なお、その際発生する残土の積込み、運搬についても含む。</p> <p>VI-2-④-14 81</p>	工種	市場単価			機	労	材	吹付枠工 (SS000185)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ラス張工 (SS000187)	○	○	○	<p>④-2 吹付枠工</p> <p>1. 適用範囲                      本資料は、市場単価方式による吹付枠工に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲                      (1) 金網メッシュ、プラスチック段ボール等の自由に変形可能な型枠鉄筋のプレハブ部材を用い、鉄筋を含む吹付枠工。                      1-2 市場単価が適用出来ない範囲                      (1) 特別調査等別途考慮するもの。                      1) 法面垂直高さが45mを超える場合、又は、吹付けのホース延長が100mを超える場合。                      2) 梁の断面が正方形以外の場合。                      3) 基本外観形状が矩形（正方形、長方形）以外（三角形、台形、円形等）の場合（一部分のみが矩形以外の場合は除く）。                      4) 設計アンカー力が標準以外の場合。                      5) 梁断面150×150で主アンカーにロックボルトを使用する場合。                      6) 梁断面300×300以下でスターラップを配置する場合。                      7) ラス張工を枠内に部分的に施工する場合。                      8) ラス張工で菱形金網を使用しない場合。                      9) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。                      10) 夜間作業の場合。                      11) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定                      2-1 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付枠工 (SS000185)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ハンチの有無は問わない。                      2. 材料ロス及び現場内小運搬を含む。                      3. 目地については別途考慮する。                      4. 特殊養生、雪寒仮囲いのための機械経費、労務費、材料費は含まない。                      なお、必要な場合は別途計上する。</p> <p>VI-2-④-14 81</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラス張工 (SS000187)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. ラス張工（法面清掃）は全面張を標準とする。                      2. 材料ロス及び現場内小運搬を含む。                      3. 法面清掃とは、施工に先立ち行う簡易清掃及び補修を示す。なお、その際発生する残土の積込み、運搬についても含む。</p> <p>VI-2-④-14 81</p>	工種	市場単価			機	労	材	吹付枠工 (SS000185)	○	○	○	工種	市場単価			機	労	材	ラス張工 (SS000187)	○	○	○
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
吹付枠工 (SS000185)	○	○	○																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
ラス張工 (SS000187)	○	○	○																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
吹付枠工 (SS000185)	○	○	○																																											
工種	市場単価																																													
	機	労	材																																											
ラス張工 (SS000187)	○	○	○																																											

令和3年度 山口県設計標準歩掛表（一般共通編）第VI編土木工事標準単価・市場単価  
 新旧対照表

適用基準日：040701

040701以降適用

新		【用 途 類 係】										特 殊 型 種 使 用		備 考		
製 作 会 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	歩 道 区 分	積 算 対 称 部	設 置 方 向	道 路 種 別	道 路 形 状	伸 縮 量 (mm)	排 水 標 高 (mm)	補 油 材 部 重 量 (kg/m)	本 体 重 量 (kg/L1.8 m)	分 類	本 体 形 式		本 体 種 類	
														注		注
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.24	161.1	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.24	164.7	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	14.17~29.39	164.7	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	14.17~29.39	174.96	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	12.88~14.36	151.92	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	1.99	13.86	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	56.0~56.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	67.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	166.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	9.4	162.3	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	126.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	31.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	37.8~38.3	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	40.2~40.8	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	56.9~58.1	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	4.0	40.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	53.8~60.1	○	○	○	○	標準型

※本表に付属するアンカーボルトが、分類可能な「ボルト締結部」の場合は、本体質量に含まない。

旧		【用 途 類 係】										特 殊 型 種 使 用		備 考		
製 作 会 社 名	伸 縮 装 置 名 称	伸 縮 装 置 型 番	歩 道 区 分	積 算 対 称 部	設 置 方 向	道 路 種 別	道 路 形 状	伸 縮 量 (mm)	排 水 標 高 (mm)	補 油 材 部 重 量 (kg/m)	本 体 重 量 (kg/L1.8 m)	分 類	本 体 形 式		本 体 種 類	
														注		注
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.24	161.1	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.24	164.7	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	14.17~29.39	164.7	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	14.17~29.39	174.96	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	12.88~14.36	151.92	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	1.99	13.86	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	56.0~56.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	67.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	166.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	9.4	162.3	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	146.5~166.9	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	61.1~129.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	31.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	6.2	37.8~38.3	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	4.0	42.3~44.8	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	4.0	40.5	○	○	○	標準型
MS	MSジョイント	MSJL-20,35,50,50P	○	○	○	○	○	○	○	○	53.8~60.1	○	○	○	○	標準型

※本表に付属するアンカーボルトが、分類可能な「ボルト締結部」の場合は、本体質量に含まない。

P.103  
 第VI編 土木工事標準単価・市場単価  
 第2章 市場単価  
 ⑥ 橋梁付属物工  
 ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工



令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (一般共通編) 第VI編土木工事標準単価・市場単価  
 新旧対照表

適用基準日: 040701

頁	新	旧
P.105 第VI編 土木工事標準単価・市場単価 第2章 市場単価 ⑥ 橋梁付属物工 ⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工	040701以降適用	
	<p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>	<p>※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。</p>

第VI編 土木工事標準単価・市場単価  
第2章 市場単価  
⑥ 橋梁付属物工  
⑥-1 橋梁用伸縮継手装置設置工

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覧表

製作 会社名	伸縮装置 名称	型式	【用途(単位)】		形状	非 排水 構造	伸 縮 量 (mm)	伸 縮 部 材 質量 (kg/m)	容 積 質量 (kg/1.8m)	【規格(単位)】			備 考
			歩道 区分	歩道 区分						分 割	分 割	分 割	
東洋橋梁工業株式会社	プロフジョイント	型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	62.0-102	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80.100	○	○	○	○	30-100	6.24	63-90	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80.100	○	○	○	○	30-100	6.24	67-122	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	66-123	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
日建建設工業株式会社	ダイヤワジージョイント	型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
日建建設工業株式会社	ダイヤワジージョイント	型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様

VI-2-⑥-7  
105

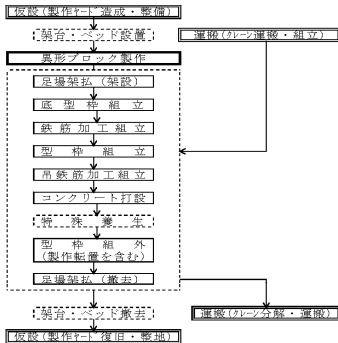
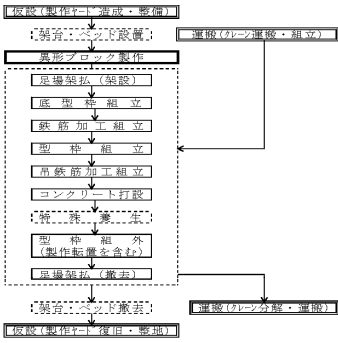
製作 会社名	伸縮装置 名称	型式	【用途(単位)】		形状	非 排水 構造	伸 縮 量 (mm)	伸 縮 部 材 質量 (kg/m)	容 積 質量 (kg/1.8m)	【規格(単位)】			備 考
			歩道 区分	歩道 区分						分 割	分 割	分 割	
東洋橋梁工業株式会社	プロフジョイント	型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	62.0-102	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80.100	○	○	○	○	30-100	6.24	63-90	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80.100	○	○	○	○	30-100	6.24	67-122	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	66-123	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
		型別30.40.60.80	○	○	○	○	30-60	6.24	69-114	○	○	○	二重止水域部付全
日建建設工業株式会社	ダイヤワジージョイント	型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様
		型別40.60	○	○	○	○	40-60	6.44	69-109	○	○	○	標準仕様

VI-2-⑥-7  
105



令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧												
<p>P.603</p> <p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>8節 消波工</p> <p>2 消波ブロック工</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>2. 消波ブロック工</p> <p>2-1 消波ブロック製作</p> <p>消波ブロック製作に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="459 438 1003 470"> <thead> <tr> <th>種別 (レベル3)</th> <th>細別 (レベル4)</th> <th>積算要素 (レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消波ブロック工</td> <td>消波ブロック製作</td> <td>異形ブロック製作 10個当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1-1 適用範囲</p> <p>本項は、異形ブロックおよび直立消波ブロックを製作する工事に適用する。</p> <p>2-1-2 施工フロー</p>  <p>注) 1. 本項の歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異形ブロック製作</span>の部分である。 2. 製作転置とは、型枠脱型場所から製作場所仮置場までのブロックの移動であり、クレーンによる50m未満の範囲内の作業である。</p> <p>2-1-3 代価表作成手順</p> <p>【ブロック製作の積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック諸元 → 2-1-4-1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ブロック質量の決定</span> → ①ブロック実質量</li> <li>↓</li> <li>・ブロック実質量 ・現場条件 → 2-1-4-2 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クレーンの選定</span> → ②製作クレーン機種・規格 ③製作転置クレーン機種・規格</li> <li>↓</li> <li>①ブロック実質量 → 2-1-4-3 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市場単価適用の検討</span> → ④型枠工市場単価 ⑤コンクリート打設工市場単価</li> <li>↓</li> <li>・型枠組立組外 100m<sup>2</sup>当り歩掛 (クレーン) → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">型枠組立組外歩掛の算定</span> → ⑥10個当り型枠歩掛</li> <li>↓</li> <li>・コンクリート打設 100m<sup>2</sup>当り歩掛 (クレーン) → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">打設歩掛の算定</span> → ⑦10個当りコンクリート打設歩掛</li> </ul> <p style="text-align: center;">3-8-3 603</p>	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り	<p style="text-align: center;">040401以降適用</p> <p>2. 消波ブロック工</p> <p>2-1 消波ブロック製作</p> <p>消波ブロック製作に含まれる代価表は、下表のとおりである。</p> <table border="1" data-bbox="1444 438 1989 470"> <thead> <tr> <th>種別 (レベル3)</th> <th>細別 (レベル4)</th> <th>積算要素 (レベル6)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消波ブロック工</td> <td>消波ブロック製作</td> <td>異形ブロック製作 10個当り</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-1-1 適用範囲</p> <p>本項は、異形ブロックおよび直立消波ブロックを製作する工事に適用する。</p> <p>2-1-2 施工フロー</p>  <p>注) 1. 本項の歩掛は、<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">異形ブロック製作</span>の部分である。 2. 製作転置とは、型枠脱型場所から製作場所仮置場までのブロックの移動であり、クレーンによる50m未満の範囲内の作業である。</p> <p>2-1-3 代価表作成手順</p> <p>【ブロック製作の積算】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック諸元 → 2-1-4-1 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ブロック質量の決定</span> → ①ブロック実質量</li> <li>↓</li> <li>・ブロック実質量 ・現場条件 → 2-1-4-2 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クレーンの選定</span> → ②製作クレーン機種・規格 ③製作転置クレーン機種・規格</li> <li>↓</li> <li>①ブロック実質量 → 2-1-4-3 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">型枠組立組外歩掛の選定</span> → ④型枠面積 100m<sup>2</sup>当り歩掛</li> <li>↓</li> <li>④型枠面積 100m<sup>2</sup>当り歩掛 ・10個当り型枠面積 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">型枠組立組外歩掛の算定</span> → ⑤10個当り型枠歩掛</li> <li>↓</li> <li>①ブロック実質量 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">打設歩掛の選定</span> → ⑥コンクリート 100m<sup>2</sup>当り打設歩掛</li> </ul> <p style="text-align: center;">3-8-3 603</p>	種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)	消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り
種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)												
消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り												
種別 (レベル3)	細別 (レベル4)	積算要素 (レベル6)												
消波ブロック工	消波ブロック製作	異形ブロック製作 10個当り												



令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																																																													
	040701以降適用																																																																																																																																																														
	040401以降適用																																																																																																																																																														
<p>P.604</p> <p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>8節 消波工</p> <p>2 消波ブロック工</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(鉄筋及び吊鉄筋が必要な場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋径・施工場所</li> <li>10個当り型枠歩掛</li> <li>10個当りコンクリート打設歩掛</li> <li>鉄筋の有無</li> <li>吊鉄筋の有無</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>市場単価適用の検討</p> <p>→ ⑧鉄筋市場単価 ⑨吊鉄筋市場単価 市場単価適用条件以外は別途積算</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>製作歩掛の計算</p> <p>→ ⑩10個当り製作歩掛</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑩10個当り製作歩掛 ⑧鉄筋市場単価 ⑨吊鉄筋市場単価 ⑪型枠工市場単価 ⑫コンクリート打設工市場単価 ⑬製作歩掛の機械・規格 ⑭製作転置クレーン機械・規格</p> <p>→ 異形ブロック製作 10個当り代価表</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>代価表の作成</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【その他の積算】 ・架台・ベッド (賃料)</p> <p>→ 架台・ベッドの必要性の検討</p> <p>→ 必要な場合別途積算</p> </div> <p>2-1-4 施工歩掛</p> <p>2-1-4-1 ブロック質量の選定 製作対象ブロックの実質量よりブロック製作歩掛数量を選定する。</p> <p>2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン クレーンの機種・規格は、ブロック実質量を対象とし、下表により選定する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック実質量</th> <th colspan="2">機種・規格</th> </tr> <tr> <th>型枠工用</th> <th>コンクリート工用、製作転置用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5t以下</td> <td>ラフアレンクレーン (油) 25t吊</td> <td>クローラクレーン (油) 25t吊</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超えて5.5t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 35t吊</td> </tr> <tr> <td>5.5tを超えて11.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 50t吊</td> </tr> <tr> <td>11.0tを超えて50.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 100t吊</td> </tr> <tr> <td>50.0tを超えて70.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 150t吊</td> </tr> <tr> <td>70.0tを超える</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 200t吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン規格は現場条件により大型の規格を選定できる。 2. 同一工事において、製作・据付を一連して施工する場合は、製作転置用クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用する。</p> <p>2-1-4-3 製作歩掛等 製作に係わる型枠およびコンクリートの歩掛数量は、ブロック実質量により選定する。</p> <p>1) 型枠工およびコンクリート打設工 市場単価には、一般養生に要する労務の他、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、パイプレタ、養生シート、ワイヤーロープおよび足場にかかる費用が含まれる。 なお、一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剤塗布のものであり、給熱養生の必要がある場合は別途考慮する。 市場単価の算定については、「第4章 市場単価」による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑫型枠100m<sup>2</sup>当り組立組外歩掛(a) (型枠工用)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>2.5t以下</th> <th>2.5tを超えて5.5t #</th> <th>5.5tを超えて11.0t #</th> <th>11.0tを超えて50.0t #</th> <th>50.0tを超えて70.0t #</th> <th>70.0tを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフアレンクレーン (型枠工用)</td> <td>日</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフアレンクレーン (製作転置用)</td> <td>#</td> <td>0.21</td> <td>0.14</td> <td>0.13</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (製作転置用)</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.10</td> <td>0.06</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>注) 1. 本歩掛はジャッキ (連結金具) 設置の有無に関わらず適用できる。なお、必要によりジャッキ材料費を別途計上する。 2. 型枠は、鋼製及びFRP型枠使用を標準とし、木製型枠の場合は別途計上する。 3. 本歩掛には型枠の組立・脱型及び型枠清掃、剥離材塗布及び製作転置が含まれる。 4. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p> <p style="text-align: center;">3-8-4 604</p>	ブロック実質量	機種・規格		型枠工用	コンクリート工用、製作転置用	2.5t以下	ラフアレンクレーン (油) 25t吊	クローラクレーン (油) 25t吊	2.5tを超えて5.5t #	(油) 25t吊	(油) 35t吊	5.5tを超えて11.0t #	(油) 25t吊	(油) 50t吊	11.0tを超えて50.0t #	(油) 25t吊	(油) 100t吊	50.0tを超えて70.0t #	(油) 25t吊	(油) 150t吊	70.0tを超える	(油) 25t吊	(油) 200t吊	名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要	2.5t以下	2.5tを超えて5.5t #	5.5tを超えて11.0t #	11.0tを超えて50.0t #	50.0tを超えて70.0t #	70.0tを超える	ラフアレンクレーン (型枠工用)	日	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40		ラフアレンクレーン (製作転置用)	#	0.21	0.14	0.13	—	—	—		クローラクレーン (製作転置用)	#	—	—	—	0.10	0.06	0.04		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑩コンクリート ・100m<sup>2</sup>当り打設歩掛 ・10個当りコンクリート量</p> <p>→ コンクリート打設歩掛の算定</p> <p>→ ⑦10個当りコンクリート打設歩掛</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(鉄筋及び吊鉄筋が必要な場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋径・施工場所</li> <li>10個当りコンクリート打設歩掛</li> <li>10個当り鉄筋歩掛の有無</li> <li>10個当り吊鉄筋歩掛の有無</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>市場単価適用の検討</p> <p>→ ⑧鉄筋市場単価 ⑨吊鉄筋市場単価 市場単価適用条件以外は別途積算</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>製作歩掛の計算</p> <p>→ ⑩10個当り製作歩掛</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑩10個当り製作歩掛 ⑧鉄筋市場単価 ⑨吊鉄筋市場単価 ⑪製作歩掛の機械・規格 ⑫製作転置クレーン機械・規格</p> <p>→ 異形ブロック製作 10個当り代価表</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>代価表の作成</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【その他の積算】 ・架台・ベッド (賃料)</p> <p>→ 架台・ベッドの必要性の検討</p> <p>→ 必要な場合別途積算</p> </div> <p>2-1-4 施工歩掛</p> <p>2-1-4-1 ブロック質量の選定 製作対象ブロックの実質量よりブロック製作歩掛数量を選定する。</p> <p>2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン クレーンの機種・規格は、ブロック実質量を対象とし、下表により選定する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ブロック実質量</th> <th colspan="2">機種・規格</th> </tr> <tr> <th>型枠工用</th> <th>コンクリート工用、製作転置用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2.5t以下</td> <td>ラフアレンクレーン (油) 25t吊</td> <td>クローラクレーン (油) 25t吊</td> </tr> <tr> <td>2.5tを超えて5.5t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 35t吊</td> </tr> <tr> <td>5.5tを超えて11.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 50t吊</td> </tr> <tr> <td>11.0tを超えて50.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 100t吊</td> </tr> <tr> <td>50.0tを超えて70.0t #</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 150t吊</td> </tr> <tr> <td>70.0tを超える</td> <td>(油) 25t吊</td> <td>(油) 200t吊</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. クレーン規格は現場条件により大型の規格を選定できる。 2. 同一工事において、製作・据付を一連して施工する場合は、製作転置用クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用する。</p> <p>2-1-4-3 製作歩掛等 製作に係わる型枠およびコンクリートの歩掛数量は、ブロック実質量により選定する。</p> <p>1) 型枠100m<sup>2</sup>当り組立組外歩掛(a)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>2.5t以下</th> <th>2.5tを超えて5.5t #</th> <th>5.5tを超えて11.0t #</th> <th>11.0tを超えて50.0t #</th> <th>50.0tを超えて70.0t #</th> <th>70.0tを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 話 役 入</td> <td>#</td> <td>0.65 (0.05)</td> <td>0.65 (0.05)</td> <td>0.58 (0.08)</td> <td>0.58 (0.08)</td> <td>0.58 (0.06)</td> <td>0.55 (0.03)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>#</td> <td>0.61 (0.11)</td> <td>0.60 (0.10)</td> <td>0.60 (0.10)</td> <td>0.58 (0.08)</td> <td>0.55 (0.05)</td> <td>0.45 (0.05)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>#</td> <td>2.42 (0.22)</td> <td>2.40 (0.20)</td> <td>2.00 (0.20)</td> <td>1.99 (0.16)</td> <td>1.59 (0.09)</td> <td>1.39 (0.09)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型枠工用</td> <td>#</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.50</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフアレンクレーン (製作転置用)</td> <td>#</td> <td>0.21</td> <td>0.14</td> <td>0.13</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン (製作転置用)</td> <td>#</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.10</td> <td>0.06</td> <td>0.04</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 本歩掛はジャッキ (連結金具) 設置の有無に関わらず適用できる。なお、必要によりジャッキ材料費を別途計上する。 2. 型枠は、鋼製及びFRP型枠使用を標準とし、木製型枠の場合は別途計上する。 3. 本歩掛には型枠の組立・脱型及び型枠清掃、剥離材塗布及び製作転置が含まれる。 4. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p> <p style="text-align: center;">3-8-4 604</p>	ブロック実質量	機種・規格		型枠工用	コンクリート工用、製作転置用	2.5t以下	ラフアレンクレーン (油) 25t吊	クローラクレーン (油) 25t吊	2.5tを超えて5.5t #	(油) 25t吊	(油) 35t吊	5.5tを超えて11.0t #	(油) 25t吊	(油) 50t吊	11.0tを超えて50.0t #	(油) 25t吊	(油) 100t吊	50.0tを超えて70.0t #	(油) 25t吊	(油) 150t吊	70.0tを超える	(油) 25t吊	(油) 200t吊	名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要	2.5t以下	2.5tを超えて5.5t #	5.5tを超えて11.0t #	11.0tを超えて50.0t #	50.0tを超えて70.0t #	70.0tを超える	世 話 役 入	#	0.65 (0.05)	0.65 (0.05)	0.58 (0.08)	0.58 (0.08)	0.58 (0.06)	0.55 (0.03)		特殊作業員	#	0.61 (0.11)	0.60 (0.10)	0.60 (0.10)	0.58 (0.08)	0.55 (0.05)	0.45 (0.05)		普通作業員	#	2.42 (0.22)	2.40 (0.20)	2.00 (0.20)	1.99 (0.16)	1.59 (0.09)	1.39 (0.09)		型枠工用	#	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40		ラフアレンクレーン (製作転置用)	#	0.21	0.14	0.13	—	—	—		クローラクレーン (製作転置用)	#	—	—	—	0.10	0.06	0.04	
ブロック実質量	機種・規格																																																																																																																																																														
	型枠工用	コンクリート工用、製作転置用																																																																																																																																																													
2.5t以下	ラフアレンクレーン (油) 25t吊	クローラクレーン (油) 25t吊																																																																																																																																																													
2.5tを超えて5.5t #	(油) 25t吊	(油) 35t吊																																																																																																																																																													
5.5tを超えて11.0t #	(油) 25t吊	(油) 50t吊																																																																																																																																																													
11.0tを超えて50.0t #	(油) 25t吊	(油) 100t吊																																																																																																																																																													
50.0tを超えて70.0t #	(油) 25t吊	(油) 150t吊																																																																																																																																																													
70.0tを超える	(油) 25t吊	(油) 200t吊																																																																																																																																																													
名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要																																																																																																																																																							
		2.5t以下	2.5tを超えて5.5t #	5.5tを超えて11.0t #	11.0tを超えて50.0t #	50.0tを超えて70.0t #	70.0tを超える																																																																																																																																																								
ラフアレンクレーン (型枠工用)	日	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40																																																																																																																																																								
ラフアレンクレーン (製作転置用)	#	0.21	0.14	0.13	—	—	—																																																																																																																																																								
クローラクレーン (製作転置用)	#	—	—	—	0.10	0.06	0.04																																																																																																																																																								
ブロック実質量	機種・規格																																																																																																																																																														
	型枠工用	コンクリート工用、製作転置用																																																																																																																																																													
2.5t以下	ラフアレンクレーン (油) 25t吊	クローラクレーン (油) 25t吊																																																																																																																																																													
2.5tを超えて5.5t #	(油) 25t吊	(油) 35t吊																																																																																																																																																													
5.5tを超えて11.0t #	(油) 25t吊	(油) 50t吊																																																																																																																																																													
11.0tを超えて50.0t #	(油) 25t吊	(油) 100t吊																																																																																																																																																													
50.0tを超えて70.0t #	(油) 25t吊	(油) 150t吊																																																																																																																																																													
70.0tを超える	(油) 25t吊	(油) 200t吊																																																																																																																																																													
名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要																																																																																																																																																							
		2.5t以下	2.5tを超えて5.5t #	5.5tを超えて11.0t #	11.0tを超えて50.0t #	50.0tを超えて70.0t #	70.0tを超える																																																																																																																																																								
世 話 役 入	#	0.65 (0.05)	0.65 (0.05)	0.58 (0.08)	0.58 (0.08)	0.58 (0.06)	0.55 (0.03)																																																																																																																																																								
特殊作業員	#	0.61 (0.11)	0.60 (0.10)	0.60 (0.10)	0.58 (0.08)	0.55 (0.05)	0.45 (0.05)																																																																																																																																																								
普通作業員	#	2.42 (0.22)	2.40 (0.20)	2.00 (0.20)	1.99 (0.16)	1.59 (0.09)	1.39 (0.09)																																																																																																																																																								
型枠工用	#	0.50	0.50	0.50	0.40	0.40	0.40																																																																																																																																																								
ラフアレンクレーン (製作転置用)	#	0.21	0.14	0.13	—	—	—																																																																																																																																																								
クローラクレーン (製作転置用)	#	—	—	—	0.10	0.06	0.04																																																																																																																																																								

令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																					
<p>P.605</p> <p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>8節 消波工</p> <p>2 消波ブロック工</p>	<p>040701以降適用</p>	<p>040401以降適用</p>																																																																																																																					
	<p>3) コンクリート100m<sup>3</sup>当り打設歩掛 (b) (スレニシ)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>2.5t以下</th> <th>2.5tを超えて5.5t以下</th> <th>5.5tを超えて11.0t以下</th> <th>11.0tを超えて25.0t以下</th> <th>25.0tを超えて50.0t以下</th> <th>50.0tを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンタレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>2.30</td> <td>1.80</td> <td>1.70</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラタレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>0.80</td> <td>0.60</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上記により難い場合は、別途考慮する。 2. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p> <p>4) 鉄筋および吊鉄筋加工組立 市場単価「土木工事・鉄筋工 (一般構造物)」を適用する。 なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。 市場単価の算定については、「第4章 市場単価」による。</p> <p>5) 拘束費 現場条件等製作サイクルにより、必要となる陸上クレーンの拘束費 (賃料) を計上する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>陸上クレーンの拘束費計上日数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>拘束費計上日数</th> <th>対象作業内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工中</td> <td>必要日数(月数)</td> <td>現場条件による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要	2.5t以下	2.5tを超えて5.5t以下	5.5tを超えて11.0t以下	11.0tを超えて25.0t以下	25.0tを超えて50.0t以下	50.0tを超える	ラフテレンタレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	—	—	—		クローラタレーン (コンクリート工用)	日	—	—	—	1.20	0.80	0.60		区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要	施工中	必要日数(月数)	現場条件による		<p>2) コンクリート100m<sup>3</sup>当り打設歩掛 (b)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="6">ブロック実質量(t)</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>2.5t以下</th> <th>2.5tを超えて5.5t以下</th> <th>5.5tを超えて11.0t以下</th> <th>11.0tを超えて25.0t以下</th> <th>25.0tを超えて50.0t以下</th> <th>50.0tを超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世 務 役 人</td> <td>人</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>1.60</td> <td>0.90</td> <td>0.70</td> <td>0.70</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>2.90</td> <td>2.90</td> <td>2.90</td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.40</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td>人</td> <td>4.80 (1.60)</td> <td>4.80 (1.60)</td> <td>4.50 (1.30)</td> <td>3.50 (1.00)</td> <td>2.70 (0.60)</td> <td>2.50 (0.60)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレンタレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>2.30</td> <td>1.80</td> <td>1.70</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クローラタレーン (コンクリート工用)</td> <td>日</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.20</td> <td>0.80</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 上記により難い場合は、別途考慮する。 2. 普通作業員の下段( ) 数字は、一般養生にかかる人数で内数。 3. 一般養生とは、むしろ、シート掛け、養生剛程度のものである。 4. 給筋養生の必要がある場合は別途考慮する。その場合は一般養生にかかる普通作業員を除き別途算定する。 5. クレーンの機種・規格は、「本節 2-1-4-2 製作クレーンと製作転置クレーン」による。</p> <p>3) 鉄筋および吊鉄筋加工組立 市場単価「土木工事・鉄筋工 (一般構造物)」を適用する。 なお、市場単価には鉄筋荷卸し費用、およびクレーンを必要とする場合の賃料が含まれる。 市場単価の算定については、「第4章 市場単価」による。</p> <p>4) 雑材料 雑材料は、型枠剥離剤、インパクトレンチ、電力に関する費用、コンクリートバケット、パイププレート、養生シート、ワイヤーロープおよび足場の費用であり、労務費に次ぎの率を乗じた金額を上限とする。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>コンクリート打設高さ(H)</th> <th>H&lt;2.0m</th> <th>2.0m≦H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブロック形式</td> <td>全形式</td> <td>立体型 平型</td> </tr> <tr> <td>雑材料率</td> <td>3.0%</td> <td>13.0% 13.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. 一般養生を行わない場合も適用できる。 2. 階段型、直列型および面塊型の場合は、平型を適用する。</p> <p>5) 拘束費 現場条件等製作サイクルにより、必要となる陸上クレーンの拘束費 (賃料) を計上する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <caption>陸上クレーンの拘束費計上日数</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>拘束費計上日数</th> <th>対象作業内容</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工中</td> <td>必要日数(月数)</td> <td>現場条件による</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要	2.5t以下	2.5tを超えて5.5t以下	5.5tを超えて11.0t以下	11.0tを超えて25.0t以下	25.0tを超えて50.0t以下	50.0tを超える	世 務 役 人	人	1.60	1.60	1.60	0.90	0.70	0.70		特殊作業員	人	2.90	2.90	2.90	1.50	1.50	1.40		普通作業員	人	4.80 (1.60)	4.80 (1.60)	4.50 (1.30)	3.50 (1.00)	2.70 (0.60)	2.50 (0.60)		ラフテレンタレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	—	—	—		クローラタレーン (コンクリート工用)	日	—	—	—	—	1.20	0.80		コンクリート打設高さ(H)	H<2.0m	2.0m≦H	ブロック形式	全形式	立体型 平型	雑材料率	3.0%	13.0% 13.0%	区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要	施工中	必要日数(月数)	現場条件による
名称	単位			ブロック実質量(t)							摘要																																																																																																												
		2.5t以下	2.5tを超えて5.5t以下	5.5tを超えて11.0t以下	11.0tを超えて25.0t以下	25.0tを超えて50.0t以下	50.0tを超える																																																																																																																
ラフテレンタレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	—	—	—																																																																																																																
クローラタレーン (コンクリート工用)	日	—	—	—	1.20	0.80	0.60																																																																																																																
区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要																																																																																																																				
施工中	必要日数(月数)	現場条件による																																																																																																																					
名称	単位	ブロック実質量(t)						摘要																																																																																																															
		2.5t以下	2.5tを超えて5.5t以下	5.5tを超えて11.0t以下	11.0tを超えて25.0t以下	25.0tを超えて50.0t以下	50.0tを超える																																																																																																																
世 務 役 人	人	1.60	1.60	1.60	0.90	0.70	0.70																																																																																																																
特殊作業員	人	2.90	2.90	2.90	1.50	1.50	1.40																																																																																																																
普通作業員	人	4.80 (1.60)	4.80 (1.60)	4.50 (1.30)	3.50 (1.00)	2.70 (0.60)	2.50 (0.60)																																																																																																																
ラフテレンタレーン (コンクリート工用)	日	2.30	1.80	1.70	—	—	—																																																																																																																
クローラタレーン (コンクリート工用)	日	—	—	—	—	1.20	0.80																																																																																																																
コンクリート打設高さ(H)	H<2.0m	2.0m≦H																																																																																																																					
ブロック形式	全形式	立体型 平型																																																																																																																					
雑材料率	3.0%	13.0% 13.0%																																																																																																																					
区分	拘束費計上日数	対象作業内容	摘要																																																																																																																				
施工中	必要日数(月数)	現場条件による																																																																																																																					
	<p>3-8-5 605</p>	<p>3-8-5 605</p>																																																																																																																					

令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																																																						
<p>P.606</p> <p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第3章 直接工事費の施工歩掛</p> <p>8節 消波工</p> <p>2 消波ブロック工</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>6) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り <span style="float: right;">施工コード：S5080007</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>V × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>A × 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R<sub>i</sub> × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R<sub>i</sub> × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R<sub>i</sub> × 10</td> <td>市場単価(注1)(表8)</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋加工組立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R<sub>i</sub> × 10</td> <td>市場単価(注1)(表8)</td> </tr> <tr> <td>型枠工</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>A × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>コンクリート打設工</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>V × 10</td> <td>市場単価</td> </tr> <tr> <td>コンクリートポンプ用ポンプ(型枠工用)</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)</td> <td>(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. V：ブロック1個当りコンクリート設計量(m<sup>3</sup>) 2. A：ブロック1個当り型枠面積(m<sup>2</sup>) 3. R<sub>i</sub>、R<sub>j</sub>：ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a：型枠100m<sup>2</sup>当り組立組外歩掛(m<sup>3</sup>) 5. b：コンクリート100m<sup>3</sup>当り打設歩掛(m<sup>3</sup>) 6. W：材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 梁台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 運積鉄筋、運積金具が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) クレーン拘束 1式当り <span style="float: right;">施工コード：S6080005</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>式</td> <td></td> <td>必要日数(月数)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 必要日数(月数)とは、工事全体のクレーン拘束日数(月数)から「異形ブロック製作歩掛」で算定される製作個数分のクローラクレーン日数(月数)を除いた、クレーン拘束日数(月数)である。工事全体のクレーン日数(月数)は、「1節 直接工事費、補足資料-1 直接工事費、9.標準作業能力、消波ブロック製作日数」を参考に現場条件を踏まえて算出する。なお、工事全体のクレーン日数(月数)は、小数第1位二捨三入七捨八入(0.5月単位まで)とする。</p> <p style="text-align: center;">3-8-6 606</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む	型枠		m <sup>2</sup>	A × 10		鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む	吊鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む	鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)	吊鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)	型枠工		m <sup>2</sup>	A × 10	市場単価	コンクリート打設工		m <sup>3</sup>	V × 10	市場単価	コンクリートポンプ用ポンプ(型枠工用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間	ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クローラクレーン	ポンプ仕様(油)t吊	式		必要日数(月数)	<p style="text-align: center;">040401以降適用</p> <p>6) 代価表 (1) 異形ブロック製作 10個当り <span style="float: right;">施工コード：S5080003</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レディミクストコンクリート</td> <td></td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>V × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>型枠</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>A × 10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R<sub>i</sub> × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋</td> <td></td> <td>kg</td> <td>R<sub>i</sub> × (1+W/100) × 10</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>鉄筋加工組立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R<sub>i</sub> × 10</td> <td>市場単価(注1)(表8)</td> </tr> <tr> <td>吊鉄筋加工組立</td> <td>一般構造物</td> <td>kg</td> <td>Σ R<sub>i</sub> × 10</td> <td>市場単価(注1)(表8)</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td></td> <td>人</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン(型枠工用)</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)</td> <td>(油)t吊</td> <td>日</td> <td>A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>「本節 2-1-4-3 4) 群材」に5</td> <td>労務費の%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1. V：ブロック1個当りコンクリート設計量(m<sup>3</sup>) 2. A：ブロック1個当り型枠面積(m<sup>2</sup>) 3. R<sub>i</sub>、R<sub>j</sub>：ブロック1個当り鉄筋または吊鉄筋質量(kg) 4. a：型枠100m<sup>2</sup>当り組立組外歩掛(m<sup>3</sup>) 5. b：コンクリート100m<sup>3</sup>当り打設歩掛(m<sup>3</sup>) 6. W：材料割増率(%) 7. 数量は、小数3位四捨五入とする。 8. 材料割増率は、「本節 1-5-2 材料割増率」による。 9. 梁台、ベッド等が必要な場合は、別途計上する。 10. 運積鉄筋、運積金具が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(2) クレーン拘束 1式当り <span style="float: right;">施工コード：S6080005</span></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クローラクレーン</td> <td>ポンプ仕様(油)t吊</td> <td>式</td> <td></td> <td>必要日数(月数)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 必要日数(月数)とは、工事全体のクレーン拘束日数(月数)から「異形ブロック製作歩掛」で算定される製作個数分のクローラクレーン日数(月数)を除いた、クレーン拘束日数(月数)である。工事全体のクレーン日数(月数)は、「1節 直接工事費、補足資料-1 直接工事費、9.標準作業能力、消波ブロック製作日数」を参考に現場条件を踏まえて算出する。なお、工事全体のクレーン日数(月数)は、小数第1位二捨三入七捨八入(0.5月単位まで)とする。</p> <p style="text-align: center;">3-8-6 606</p>	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	レディミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む	型枠		m <sup>2</sup>	A × 10		鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む	吊鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む	鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)	吊鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)	世帯		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100		特殊作業員		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100		普通作業員		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100		ラフテレーンクレーン(型枠工用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間	ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間	雑材料		%	「本節 2-1-4-3 4) 群材」に5	労務費の%	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クローラクレーン	ポンプ仕様(油)t吊	式		必要日数(月数)
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																				
レディミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
型枠		m <sup>2</sup>	A × 10																																																																																																																																																					
鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
吊鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)																																																																																																																																																				
吊鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)																																																																																																																																																				
型枠工		m <sup>2</sup>	A × 10	市場単価																																																																																																																																																				
コンクリート打設工		m <sup>3</sup>	V × 10	市場単価																																																																																																																																																				
コンクリートポンプ用ポンプ(型枠工用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																				
クローラクレーン	ポンプ仕様(油)t吊	式		必要日数(月数)																																																																																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																				
レディミクストコンクリート		m <sup>3</sup>	V × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
型枠		m <sup>2</sup>	A × 10																																																																																																																																																					
鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
吊鉄筋		kg	R <sub>i</sub> × (1+W/100) × 10	割増しを含む																																																																																																																																																				
鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)																																																																																																																																																				
吊鉄筋加工組立	一般構造物	kg	Σ R <sub>i</sub> × 10	市場単価(注1)(表8)																																																																																																																																																				
世帯		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100																																																																																																																																																					
特殊作業員		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100																																																																																																																																																					
普通作業員		人	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100																																																																																																																																																					
ラフテレーンクレーン(型枠工用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
ラフテレーンクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	ポンプ仕様(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
クローラクレーン(コンクリート工用、製作転搬用)	(油)t吊	日	A × 10 × a / 100 + V × 10 × b / 100	標準運転時間																																																																																																																																																				
雑材料		%	「本節 2-1-4-3 4) 群材」に5	労務費の%																																																																																																																																																				
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																				
クローラクレーン	ポンプ仕様(油)t吊	式		必要日数(月数)																																																																																																																																																				

令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
 新旧対照表

適用基準日 : 040701

頁	新	旧																																																																																														
P.628  第1部 港湾土木請負工事積算基準  第3章 直接工事費の施工歩掛 8節 消波工 補足資料-1 消波工(本体工-ブロック式および被覆・根固工共通)	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>5. 異形ブロックの型枠資料                      1) 適用範囲                      異形ブロック製作における型枠資料については、物価資料により価格を決定する。                      なお、物価資料に掲載のない規格(例 鋼製型枠80t以上)については、特別調査により価格を決定する。</p>	<p style="text-align: right;">040401以降適用</p> <p>5. 特殊養生(異形ブロック)                      1) 適用範囲                      35.5t以下(実質量)の異形ブロックの現地製作において特殊養生を行う場合に適用する。特殊養生は、練炭による給熱養生を対象とする。特殊養生工の適用期間は、日平均気温が4℃以下となる場合に適用し、養生方法は構造物をシートなどで囲い練炭にて給熱する。</p> <p>2) 代価表                      (1) 特殊養生 ブロック実質量12.5t以下 100m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1391 512 1995 619"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="4">ブロック実質量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>0.25以上 2.2t以下</th> <th>2.2tを超過 4.5t以下</th> <th>4.5tを超過 6.5t以下</th> <th>6.5tを超過 12.5t以下</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.7</td> <td>1.1</td> <td>0.9</td> <td>0.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>10.8</td> <td>6.5</td> <td>5.2</td> <td>4.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>練炭 高4号</td> <td></td> <td>個</td> <td>424</td> <td>243</td> <td>188</td> <td>139</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.上記歩掛は、練炭を使用した場合である。                      2.上記歩掛は、給熱養生を3日程度としたもので、養生囲いの設置・撤去を含んでいる                      3.雑材料は、練炭火鉢および養生囲い材料(シート、桟木等)等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた額を計上する。</p> <p>(2) 特殊養生 ブロック実質量12.5tを超過35.5t以下 100m<sup>3</sup>当り</p> <table border="1" data-bbox="1391 715 1800 866"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">ブロック実質量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>12.5を超過 35.5t以下</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>1.70</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>練炭 高4号</td> <td></td> <td>個</td> <td>126.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>シート 3.6m×5.4m</td> <td></td> <td>枚</td> <td>29.30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻袋 105cm×60cm</td> <td></td> <td>袋</td> <td>41.00</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラフレックレーン</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.上記歩掛は、練炭を使用した場合である。                      2.上記歩掛は、給熱養生を3日程度としている                      3.クレーン規格は、ブロック製作で指定されたクレーンを採用する。                      4.転回回数として、シートは12回、麻袋は9回を標準とする。</p> <p>6. 異形ブロックの型枠資料                      異形ブロック製作における型枠資料については、物価資料により価格を決定する。                      なお、物価資料に掲載のない規格(例 鋼製型枠80t以上)については、特別調査により価格を決定する。</p>	名称	形状寸法	単位	ブロック実質量				摘要	0.25以上 2.2t以下	2.2tを超過 4.5t以下	4.5tを超過 6.5t以下	6.5tを超過 12.5t以下	世話役		人	1.7	1.1	0.9	0.7		普通作業員		人	10.8	6.5	5.2	4.1		練炭 高4号		個	424	243	188	139		雑材料		%				6		名称	形状寸法	単位	ブロック実質量		摘要	12.5を超過 35.5t以下		世話役		人	0.30			普通作業員		人	1.70			練炭 高4号		個	126.00			シート 3.6m×5.4m		枚	29.30			麻袋 105cm×60cm		袋	41.00			ラフレックレーン		日	0.16			雑材料		%			
名称	形状寸法	単位				ブロック実質量					摘要																																																																																					
			0.25以上 2.2t以下	2.2tを超過 4.5t以下	4.5tを超過 6.5t以下	6.5tを超過 12.5t以下																																																																																										
世話役		人	1.7	1.1	0.9	0.7																																																																																										
普通作業員		人	10.8	6.5	5.2	4.1																																																																																										
練炭 高4号		個	424	243	188	139																																																																																										
雑材料		%				6																																																																																										
名称	形状寸法	単位	ブロック実質量		摘要																																																																																											
			12.5を超過 35.5t以下																																																																																													
世話役		人	0.30																																																																																													
普通作業員		人	1.70																																																																																													
練炭 高4号		個	126.00																																																																																													
シート 3.6m×5.4m		枚	29.30																																																																																													
麻袋 105cm×60cm		袋	41.00																																																																																													
ラフレックレーン		日	0.16																																																																																													
雑材料		%																																																																																														

令和3年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
 新旧対照表

適用基準日 : 040701

頁	新	旧
P.890	040701以降適用	040701以降適用
<p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第4章 市場単価</p> <p>2 市場単価により積算を行う工程</p>	<p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第4章 市場単価</p> <p>2 市場単価により積算を行う工程</p>	<p>第1部 港湾土木請負工事積算基準</p> <p>第4章 市場単価</p> <p>2 市場単価により積算を行う工程</p>
<p>2 市場単価により積算を行う工程                  本標準歩掛表に於ける市場単価は下記の工程の○印の工程を対象とし、これ以外の工程については適用できない。                  市場単価適用工程(その1)</p>	<p>2 市場単価により積算を行う工程                  本標準歩掛表に於ける市場単価は下記の工程の○印の工程を対象とし、これ以外の工程については適用できない。                  市場単価適用工程(その1)</p>	<p>2 市場単価により積算を行う工程                  本標準歩掛表に於ける市場単価は下記の工程の○印の工程を対象とし、これ以外の工程については適用できない。                  市場単価適用工程(その1)</p>
<p>4-1-2</p>	<p>4-1-2</p>	<p>4-1-2</p>

令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																
<p>P.122</p> <p>設計業務等標準積算基準書</p> <p>第2編 地質調査業務</p> <p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>2-4 現場内小運搬</p> <p>現場内小運搬は、ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。(運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。)</p> <p>小運搬の積算にあたっては、下表を参考に現地の条件にあった運搬方法を選ぶものとする。なお、搬入路伐採等については、小運搬(人肩、クローラ、モノレール、索道)に際し、立木伐採や下草刈り等が必要な場合に適用するものとし、その際は、2-6「その他間接調査費」の「搬入路伐採等」の単価を適用する。</p> <p>表2.4.1 小運搬方法一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>運搬距離</th> <th>地形</th> <th>運搬効率</th> <th>特長</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩</td> <td>短距離に適用</td> <td>緩傾斜地</td> <td>極めて不良</td> <td>条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)</td> <td>原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)</td> </tr> <tr> <td>特装車(クローラ)</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)</td> <td>良好</td> <td>道路がなくても可能、大量輸送が可能。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>傾斜地 急傾斜地 急峻地</td> <td>良好</td> <td>既存の運搬路が無い場合に有利である。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>索道(ケーブルクレーン)</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>急傾斜地 急峻地</td> <td>良好</td> <td>河川、谷、崖を越える場合に有利である。</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4-1 適用範囲 現場内小運搬は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 現場内小運搬のうち、人肩運搬、特装車運搬(クローラ)、モノレール運搬するもの。</p> <p>2-4-2 編成人員 滞在費を算出するための現場内小運搬1回当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特装車</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">2-2-11</p> <p style="text-align: center;">122</p>	運搬方法	運搬距離	地形	運搬効率	特長	備考	人肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)	特装車(クローラ)	短～中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	—	モノレール	短～中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	—	索道(ケーブルクレーン)	短～中距離に適用	急傾斜地 急峻地	良好	河川、谷、崖を越える場合に有利である。	—	運搬方法	職種	主任地質調査員	地質調査員	人肩		0.5	1.0	特装車		0.5	1.0	モノレール			0.5	<p>2-4 現場内小運搬</p> <p>現場内小運搬は、ボーリングマシン並びに各種原位置試験用器材をトラック又はライトバン等より降した地点から、順次調査地点へと移動して、調査終了後にトラック又はライトバンに積み込む地点までの運搬費である。(運搬に付随する積み込み、積み降ろしを含む。なお、トラック又はライトバン等による資機材運搬、人員輸送は別途計上する。)</p> <p>小運搬の積算にあたっては、下表を参考に現地の条件にあった運搬方法を選ぶものとする。なお、搬入路伐採等については、小運搬(人肩、クローラ、モノレール、索道)に際し、立木伐採や下草刈り等が必要な場合に適用するものとし、その際は、2-6「その他間接調査費」の「搬入路伐採等」の単価を適用する。</p> <p>表2.4.1 小運搬方法一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>運搬距離</th> <th>地形</th> <th>運搬効率</th> <th>特長</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩</td> <td>短距離に適用</td> <td>緩傾斜地</td> <td>極めて不良</td> <td>条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)</td> <td>原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)</td> </tr> <tr> <td>特装車(クローラ)</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)</td> <td>良好</td> <td>道路がなくても可能、大量輸送が可能。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>傾斜地 急傾斜地 急峻地</td> <td>良好</td> <td>既存の運搬路が無い場合に有利である。</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>索道(ケーブルクレーン)</td> <td>短～中距離に適用</td> <td>急傾斜地 急峻地</td> <td>良好</td> <td>河川、谷、崖を越える場合に有利である。</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-4-1 適用範囲 現場内小運搬は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 現場内小運搬のうち、人肩運搬、特装車運搬(クローラ)、モノレール運搬、<u>索道運搬</u>するもの。</p> <p>2-4-2 編成人員 滞在費を算出するための現場内小運搬1回当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運搬方法</th> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>特装車</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>モノレール</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>索道</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2-2-11</p> <p style="text-align: center;">122</p>	運搬方法	運搬距離	地形	運搬効率	特長	備考	人肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)	特装車(クローラ)	短～中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	—	モノレール	短～中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	—	索道(ケーブルクレーン)	短～中距離に適用	急傾斜地 急峻地	良好	河川、谷、崖を越える場合に有利である。	—	運搬方法	職種	主任地質調査員	地質調査員	人肩		0.5	1.0	特装車		0.5	1.0	モノレール			0.5	索道			0.5
運搬方法	運搬距離	地形	運搬効率	特長	備考																																																																																													
人肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)																																																																																													
特装車(クローラ)	短～中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	—																																																																																													
モノレール	短～中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	—																																																																																													
索道(ケーブルクレーン)	短～中距離に適用	急傾斜地 急峻地	良好	河川、谷、崖を越える場合に有利である。	—																																																																																													
運搬方法	職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																															
人肩		0.5	1.0																																																																																															
特装車		0.5	1.0																																																																																															
モノレール			0.5																																																																																															
運搬方法	運搬距離	地形	運搬効率	特長	備考																																																																																													
人肩	短距離に適用	緩傾斜地	極めて不良	条件を選ばないが、低効率(最低でも歩道程度は必要である。)	原則として、特装車が活用できない場合に適用する。(例：幅50cm以下)																																																																																													
特装車(クローラ)	短～中距離に適用	急傾斜地(登坂能力は斜度20°程度まで)	良好	道路がなくても可能、大量輸送が可能。	—																																																																																													
モノレール	短～中距離に適用	傾斜地 急傾斜地 急峻地	良好	既存の運搬路が無い場合に有利である。	—																																																																																													
索道(ケーブルクレーン)	短～中距離に適用	急傾斜地 急峻地	良好	河川、谷、崖を越える場合に有利である。	—																																																																																													
運搬方法	職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																															
人肩		0.5	1.0																																																																																															
特装車		0.5	1.0																																																																																															
モノレール			0.5																																																																																															
索道			0.5																																																																																															

令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																											
<p>P.123</p> <p>設計業務等標準積算基準書</p> <p>第2編 地質調査業務</p> <p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>2-4-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="445 480 732 552"> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>現場内小運搬</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>  <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.4.2 現場内小運搬の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="477 775 1032 1015"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人肩運搬 (SSE019)</td> <td>5.0m以下</td> <td>総運搬距離 t</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特装車運搬(クローラ) (SSE021)</td> <td>10.0m以下</td> <td>総運搬距離 〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 30.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬 (SSE023)</td> <td>5.0m以下</td> <td>総運搬距離 〃</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">2-2-12 123</p>	調査費	市場単価			機	労	材	現場内小運搬	○	○	×	種別	規格	単位	人肩運搬 (SSE019)	5.0m以下	総運搬距離 t	5.0m超 10.0m以下	〃	特装車運搬(クローラ) (SSE021)	10.0m以下	総運搬距離 〃	10.0m超 30.0m以下	〃	30.0m超 50.0m以下	〃	50.0m超 100.0m以下	〃	モノレール運搬 (SSE023)	5.0m以下	総運搬距離 〃	5.0m超 10.0m以下	〃	10.0m超 20.0m以下	〃	20.0m超 30.0m以下	〃	30.0m超 50.0m以下	〃	50.0m超 100.0m以下	〃	<p>2-4-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="1402 475 1688 547"> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>現場内小運搬</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>  <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.4.2 現場内小運搬の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="1433 770 1989 1066"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">人肩運搬 (SSE019)</td> <td>5.0m以下</td> <td>総運搬距離 t</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>総運搬距離 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特装車運搬(クローラ) (SSE021)</td> <td>10.0m超 30.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>5.0m以下</td> <td>設置距離 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬 (SH656)</td> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>設置距離 〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬 (SH662)</td> <td>10.0m超 50.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>設置距離 〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p style="text-align: center;">2-2-12 123</p>	調査費	市場単価			機	労	材	現場内小運搬	○	○	×	種別	規格	単位	人肩運搬 (SSE019)	5.0m以下	総運搬距離 t	5.0m超 10.0m以下	〃	10.0m以下	総運搬距離 〃	特装車運搬(クローラ) (SSE021)	10.0m超 30.0m以下	〃	30.0m超 50.0m以下	〃	50.0m超 100.0m以下	〃	5.0m以下	設置距離 〃	モノレール運搬 (SH656)	5.0m超 10.0m以下	〃	10.0m超 20.0m以下	〃	20.0m超 30.0m以下	〃	30.0m超 50.0m以下	〃	50.0m超 100.0m以下	〃	10.0m以下	設置距離 〃	索道運搬 (SH662)	10.0m超 50.0m以下	〃	50.0m超 100.0m以下	〃	10.0m以下	設置距離 〃
調査費	市場単価																																																																																												
	機	労	材																																																																																										
現場内小運搬	○	○	×																																																																																										
種別	規格	単位																																																																																											
人肩運搬 (SSE019)	5.0m以下	総運搬距離 t																																																																																											
	5.0m超 10.0m以下	〃																																																																																											
特装車運搬(クローラ) (SSE021)	10.0m以下	総運搬距離 〃																																																																																											
	10.0m超 30.0m以下	〃																																																																																											
	30.0m超 50.0m以下	〃																																																																																											
	50.0m超 100.0m以下	〃																																																																																											
モノレール運搬 (SSE023)	5.0m以下	総運搬距離 〃																																																																																											
	5.0m超 10.0m以下	〃																																																																																											
	10.0m超 20.0m以下	〃																																																																																											
	20.0m超 30.0m以下	〃																																																																																											
	30.0m超 50.0m以下	〃																																																																																											
	50.0m超 100.0m以下	〃																																																																																											
調査費	市場単価																																																																																												
	機	労	材																																																																																										
現場内小運搬	○	○	×																																																																																										
種別	規格	単位																																																																																											
人肩運搬 (SSE019)	5.0m以下	総運搬距離 t																																																																																											
	5.0m超 10.0m以下	〃																																																																																											
	10.0m以下	総運搬距離 〃																																																																																											
特装車運搬(クローラ) (SSE021)	10.0m超 30.0m以下	〃																																																																																											
	30.0m超 50.0m以下	〃																																																																																											
	50.0m超 100.0m以下	〃																																																																																											
	5.0m以下	設置距離 〃																																																																																											
モノレール運搬 (SH656)	5.0m超 10.0m以下	〃																																																																																											
	10.0m超 20.0m以下	〃																																																																																											
	20.0m超 30.0m以下	〃																																																																																											
	30.0m超 50.0m以下	〃																																																																																											
	50.0m超 100.0m以下	〃																																																																																											
	10.0m以下	設置距離 〃																																																																																											
索道運搬 (SH662)	10.0m超 50.0m以下	〃																																																																																											
	50.0m超 100.0m以下	〃																																																																																											
	10.0m以下	設置距離 〃																																																																																											

令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																
<p>P.124</p> <p>設計業務等標準積算基準書</p> <p>第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>表2.4.3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>設置距離</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬 (SSE027)</td> <td>5.0m以下</td> <td></td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>設置距離</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬 (SSE024)</td> <td>5.0m以下</td> <td></td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.4.5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>4. 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費＝設計単価×運搬総重量 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去) ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数 ※供用日数の算定に当たっては、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p> <p>2-4-4 適用に当たっての留意事項 現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">2-2-13 124</p>	種別	規格	設置距離	単位	モノレール運搬 (SSE027)	5.0m以下		箇所	5.0m超 10.0m以下	#	#	10.0m超 20.0m以下	#	#	20.0m超 30.0m以下	#	#	30.0m超 50.0m以下	#	#	50.0m超 100.0m以下	#	#	種別	規格	設置距離	単位	モノレール運搬 (SSE024)	5.0m以下		日	5.0m超 10.0m以下	#	#	10.0m超 20.0m以下	#	#	20.0m超 30.0m以下	#	#	30.0m超 50.0m以下	#	#	50.0m超 100.0m以下	#	#	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	<p>表2.4.3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.4.5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>4. 間接調査費の算出 (人肩運搬, 特装車運搬) 間接調査費＝設計単価×運搬総重量 設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬, 索道運搬) 間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去) ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数 設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。 供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数 ※供用日数の算定に当たっては、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p> <p>2-4-4 適用に当たっての留意事項 現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">2-2-13 124</p>	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	箇所	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	50.0m超 100.0m以下	#	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	日	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	50.0m超 100.0m以下	#	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值
種別	規格	設置距離	単位																																																																																															
モノレール運搬 (SSE027)	5.0m以下		箇所																																																																																															
	5.0m超 10.0m以下	#	#																																																																																															
	10.0m超 20.0m以下	#	#																																																																																															
	20.0m超 30.0m以下	#	#																																																																																															
	30.0m超 50.0m以下	#	#																																																																																															
	50.0m超 100.0m以下	#	#																																																																																															
種別	規格	設置距離	単位																																																																																															
モノレール運搬 (SSE024)	5.0m以下		日																																																																																															
	5.0m超 10.0m以下	#	#																																																																																															
	10.0m超 20.0m以下	#	#																																																																																															
	20.0m超 30.0m以下	#	#																																																																																															
	30.0m超 50.0m以下	#	#																																																																																															
	50.0m超 100.0m以下	#	#																																																																																															
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																																
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																
種別	規格	単位																																																																																																
モノレール運搬	5.0m以下	箇所																																																																																																
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																
種別	規格	単位																																																																																																
モノレール運搬	5.0m以下	日																																																																																																
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																																
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																



令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																																																																						
	040701以降適用																																																																																																																																																																							
	<p>2-4-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.4.6 現場内小運搬の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人肩運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>t 3.2</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特装車運搬(クローラ)</td> <td>1.0m以下</td> <td># 3.5</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 3.0m以下</td> <td># 1.9</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 1.4</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td># 3.4</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 2.8</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 2.3</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所 1.2</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.6</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 0.3</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 0.2</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 0.16</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所 1.66</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.74</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 0.60</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 0.35</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 0.31</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>2-5 足場仮設</p> <p>2-5-1 適用範囲 足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。</p> <p>2-5-2 編成人員 滞在費を算出するための足場仮設の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種別・規格	単位	日当たり作業量	人肩運搬	5.0m以下	t 3.2	5.0m超 10.0m以下	# 1.3	特装車運搬(クローラ)	1.0m以下	# 3.5	1.0m超 3.0m以下	# 1.9	3.0m超 5.0m以下	# 1.4	5.0m超 10.0m以下	# 1.2	モノレール運搬	5.0m以下	# 3.4	5.0m超 10.0m以下	# 2.8	1.0m超 2.0m以下	# 2.3	2.0m超 3.0m以下	# 1.0	3.0m超 5.0m以下	# 1.0	5.0m超 10.0m以下	# 1.0	種別・規格	単位	日当たり作業量	モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.2	5.0m超 10.0m以下	# 0.6	1.0m超 2.0m以下	# 0.3	2.0m超 3.0m以下	# 0.2	3.0m超 5.0m以下	# 0.16	5.0m超 10.0m以下	# 0.08	種別・規格	単位	日当たり作業量	モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.66	5.0m超 10.0m以下	# 0.74	1.0m超 2.0m以下	# 0.60	2.0m超 3.0m以下	# 0.35	3.0m超 5.0m以下	# 0.31	5.0m超 10.0m以下	# 0.10	職種	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	<p>2-4-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.4.6 現場内小運搬の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">人肩運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>t 3.2</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特装車運搬(クローラ)</td> <td>1.0m以下</td> <td># 3.5</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 3.0m以下</td> <td># 1.9</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 1.4</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td># 3.4</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 2.8</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 2.3</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>索道運搬</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>#</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 5.0m以下</td> <td>#</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2.4.7 現場内小運搬における架設の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所 1.2</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.6</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 0.3</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 0.2</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 0.16</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.08</td> </tr> </tbody> </table> <p>索道運搬</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.41</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 5.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.19</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.11</td> </tr> </tbody> </table> <p>表2.4.8 現場内小運搬における撤去の日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所 1.66</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.74</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 2.0m以下</td> <td># 0.60</td> </tr> <tr> <td>2.0m超 3.0m以下</td> <td># 0.35</td> </tr> <tr> <td>3.0m超 5.0m以下</td> <td># 0.31</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td># 0.10</td> </tr> </tbody> </table> <p>索道運搬</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.65</td> </tr> <tr> <td>1.0m超 5.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.23</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> <td>0.13</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 足場仮設</p> <p>2-5-1 適用範囲 足場仮設は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 足場仮設のうち、平坦地足場、湿地足場、傾斜地足場、水上足場に適用する。</p> <p>2-5-2 編成人員 滞在費を算出するための足場仮設の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>	種別・規格	単位	日当たり作業量	人肩運搬	5.0m以下	t 3.2	5.0m超 10.0m以下	# 1.3	特装車運搬(クローラ)	1.0m以下	# 3.5	1.0m超 3.0m以下	# 1.9	3.0m超 5.0m以下	# 1.4	5.0m超 10.0m以下	# 1.2	モノレール運搬	5.0m以下	# 3.4	5.0m超 10.0m以下	# 2.8	1.0m超 2.0m以下	# 2.3	2.0m超 3.0m以下	# 1.0	3.0m超 5.0m以下	# 1.0	5.0m超 10.0m以下	# 1.0	5.0m超 10.0m以下	#	1.0	1.0m以下	#	5.0	1.0m超 5.0m以下	#	4.0	5.0m超 10.0m以下	#	3.0	種別・規格	単位	日当たり作業量	モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.2	5.0m超 10.0m以下	# 0.6	1.0m超 2.0m以下	# 0.3	2.0m超 3.0m以下	# 0.2	3.0m超 5.0m以下	# 0.16	5.0m超 10.0m以下	# 0.08	1.0m以下	#	0.41	1.0m超 5.0m以下	#	0.19	5.0m超 10.0m以下	#	0.11	種別・規格	単位	日当たり作業量	モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.66	5.0m超 10.0m以下	# 0.74	1.0m超 2.0m以下	# 0.60	2.0m超 3.0m以下	# 0.35	3.0m超 5.0m以下	# 0.31	5.0m超 10.0m以下	# 0.10	1.0m以下	#	0.65	1.0m超 5.0m以下	#	0.23	5.0m超 10.0m以下	#	0.13	職種	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
人肩運搬	5.0m以下	t 3.2																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 1.3																																																																																																																																																																						
特装車運搬(クローラ)	1.0m以下	# 3.5																																																																																																																																																																						
	1.0m超 3.0m以下	# 1.9																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 1.4																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 1.2																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	# 3.4																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 2.8																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 2.3																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																							
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.2																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 0.6																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 0.3																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 0.2																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 0.16																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 0.08																																																																																																																																																																							
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.66																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 0.74																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 0.60																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 0.35																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 0.31																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 0.10																																																																																																																																																																							
職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																																																																																						
人員	0.5	1.0																																																																																																																																																																						
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
人肩運搬	5.0m以下	t 3.2																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 1.3																																																																																																																																																																						
特装車運搬(クローラ)	1.0m以下	# 3.5																																																																																																																																																																						
	1.0m超 3.0m以下	# 1.9																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 1.4																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 1.2																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	# 3.4																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 2.8																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 2.3																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 1.0																																																																																																																																																																							
5.0m超 10.0m以下	#	1.0																																																																																																																																																																						
1.0m以下	#	5.0																																																																																																																																																																						
1.0m超 5.0m以下	#	4.0																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	#	3.0																																																																																																																																																																						
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.2																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 0.6																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 0.3																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 0.2																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 0.16																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 0.08																																																																																																																																																																							
1.0m以下	#	0.41																																																																																																																																																																						
1.0m超 5.0m以下	#	0.19																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	#	0.11																																																																																																																																																																						
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																																																																																																						
モノレール運搬	5.0m以下	箇所 1.66																																																																																																																																																																						
	5.0m超 10.0m以下	# 0.74																																																																																																																																																																						
	1.0m超 2.0m以下	# 0.60																																																																																																																																																																						
	2.0m超 3.0m以下	# 0.35																																																																																																																																																																						
	3.0m超 5.0m以下	# 0.31																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	# 0.10																																																																																																																																																																							
1.0m以下	#	0.65																																																																																																																																																																						
1.0m超 5.0m以下	#	0.23																																																																																																																																																																						
5.0m超 10.0m以下	#	0.13																																																																																																																																																																						
職種	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																																																																																						
人員	0.5	1.0																																																																																																																																																																						
P.125 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	125	125																																																																																																																																																																						

令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																																
<p>P.126</p> <p>設計業務等標準積算基準書</p> <p>第2編 地質調査業務</p> <p>第2章 地質調査標準歩掛等</p> <p>第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>2-5-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="443 459 728 526"> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>足場仮設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>  <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.5.1 足場仮設の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="465 734 985 917"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平坦地足場 (SSE031)</td> <td>高さ0.3m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>高さ0.3m超</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場 (SSE035)</td> <td>地形傾斜 15°以上~30°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 30°以上~45°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 45°以上~60°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水上足場 (SSE037)</td> <td>水深 1m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 3m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 5m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.5.2 足場仮設におけるボーリング深度の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="448 1013 945 1161"> <thead> <tr> <th>足場の区分</th> <th>50m以下</th> <th>50m超 80m以下</th> <th>80m超 120m以下</th> <th>120m超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>K1</td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>水上足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 間接調査費の算出 間接調査費=設計単価×設計数量 設計単価=標準の市場単価×(K1~K4)</p> <p style="text-align: center;">2-2-15</p> <p style="text-align: center;">126</p>	調査費	市場単価			機	労	材	足場仮設	○	○	○	種別	規格	単位	平坦地足場 (SSE031)	高さ0.3m以下	箇所	高さ0.3m超	〃	傾斜地足場 (SSE035)	地形傾斜 15°以上~30°未満	〃	地形傾斜 30°以上~45°未満	〃	地形傾斜 45°以上~60°未満	〃	水上足場 (SSE037)	水深 1m以下	〃	水深 3m以下	〃	水深 5m以下	〃	足場の区分	50m以下	50m超 80m以下	80m超 120m以下	120m超	記号	K1	K2	K3	K4	平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20	<p>2-5-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲 市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="1406 459 1691 526"> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>足場仮設</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table>  <p>2. 市場単価の規格・仕様区分</p> <p>表2.5.1 足場仮設の規格区分</p> <table border="1" data-bbox="1429 734 1948 933"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平坦地足場 (SSE031)</td> <td>高さ0.3m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>高さ0.3m超</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場 (SSE035)</td> <td>地形傾斜 15°以上~30°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 30°以上~45°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜 45°以上~60°未満</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水上足場 (SSE037)</td> <td>水深 1m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 3m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 5m以下</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>水深 10m以下</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.5.2 足場仮設におけるボーリング深度の補正係数</p> <table border="1" data-bbox="1411 1013 1908 1161"> <thead> <tr> <th>足場の区分</th> <th>50m以下</th> <th>50m超 80m以下</th> <th>80m超 120m以下</th> <th>120m超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記号</td> <td>K1</td> <td>K2</td> <td>K3</td> <td>K4</td> </tr> <tr> <td>平坦地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>湿地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>水上足場</td> <td>1.00</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 間接調査費の算出 間接調査費=設計単価×設計数量 設計単価=標準の市場単価×(K1~K4)</p> <p style="text-align: center;">2-2-15</p> <p style="text-align: center;">126</p>	調査費	市場単価			機	労	材	足場仮設	○	○	○	種別	規格	単位	平坦地足場 (SSE031)	高さ0.3m以下	箇所	高さ0.3m超	〃	傾斜地足場 (SSE035)	地形傾斜 15°以上~30°未満	〃	地形傾斜 30°以上~45°未満	〃	地形傾斜 45°以上~60°未満	〃	水上足場 (SSE037)	水深 1m以下	〃	水深 3m以下	〃	水深 5m以下	〃	水深 10m以下	〃	足場の区分	50m以下	50m超 80m以下	80m超 120m以下	120m超	記号	K1	K2	K3	K4	平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20	水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20
調査費	市場単価																																																																																																																																	
	機	労	材																																																																																																																															
足場仮設	○	○	○																																																																																																																															
種別	規格	単位																																																																																																																																
平坦地足場 (SSE031)	高さ0.3m以下	箇所																																																																																																																																
	高さ0.3m超	〃																																																																																																																																
傾斜地足場 (SSE035)	地形傾斜 15°以上~30°未満	〃																																																																																																																																
	地形傾斜 30°以上~45°未満	〃																																																																																																																																
	地形傾斜 45°以上~60°未満	〃																																																																																																																																
水上足場 (SSE037)	水深 1m以下	〃																																																																																																																																
	水深 3m以下	〃																																																																																																																																
	水深 5m以下	〃																																																																																																																																
足場の区分	50m以下	50m超 80m以下	80m超 120m以下	120m超																																																																																																																														
記号	K1	K2	K3	K4																																																																																																																														
平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
調査費	市場単価																																																																																																																																	
	機	労	材																																																																																																																															
足場仮設	○	○	○																																																																																																																															
種別	規格	単位																																																																																																																																
平坦地足場 (SSE031)	高さ0.3m以下	箇所																																																																																																																																
	高さ0.3m超	〃																																																																																																																																
傾斜地足場 (SSE035)	地形傾斜 15°以上~30°未満	〃																																																																																																																																
	地形傾斜 30°以上~45°未満	〃																																																																																																																																
	地形傾斜 45°以上~60°未満	〃																																																																																																																																
水上足場 (SSE037)	水深 1m以下	〃																																																																																																																																
	水深 3m以下	〃																																																																																																																																
	水深 5m以下	〃																																																																																																																																
	水深 10m以下	〃																																																																																																																																
足場の区分	50m以下	50m超 80m以下	80m超 120m以下	120m超																																																																																																																														
記号	K1	K2	K3	K4																																																																																																																														
平坦地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
湿地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
傾斜地足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														
水上足場	1.00	1.05	1.10	1.20																																																																																																																														

令和3年度 山口県業務関係積算基準及び標準歩掛表  
新旧対照表

適用基準日：040701

頁	新	旧																																																																																																																
<p>P.127</p> <p>設計業務等標準積算基準書</p> <p>第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)</p>	<p style="text-align: center;">040701以降適用</p> <p>2-5-4 適用に当たっての留意事項 1. 単価は、ボーリング機設置撤去、機械分解組立を含むものとする。 2. 水上足場において、ボーリング設置撤去のために「とび工」が必要な場合、並びに水底の地形が傾斜しており、整地のため「潜水士」が必要な場合は、別途計上するものとする。 3. 水上足場は、作業船を含むものとする。 4. 水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。 5. 水上足場設置後に、作業現場までの移動に船外機搭載の船舶等を使用する必要がある場合についての移動費用については、別途計上する。</p> <p>2-5-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。 表2.5.3 足場仮設の日当たり作業量(設置・撤去)</p> <table border="1" data-bbox="452 598 1025 783"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平坦地足場</td> <td>高さ0.3m以下</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>高さ0.3m超</td> <td>〃</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">湿地足場</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜15°以上～30°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜30°以上～45°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜45°以上～60°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水上足場</td> <td>水深 1m以下</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>水深 3m以下</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>水深 5m以下</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>2-6 その他間接調査費 2-6-1 適用範囲 その他間接調査費は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 その他間接調査費のうち、準備及び跡片付け、搬入路伐採等、環境保全、調査孔閉塞、給水費(ポンプ運転)とする。現場条件等により、給水に係る運搬が必要な場合は別途計上する。また、試掘、舗装復旧、ボーリング泥水処理が必要な場合は別途計上する。</p> <p>2-6-2 編成人員 滞在費を算出するためのその他の間接調査費1業務あるいは1箇所当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="407 1077 878 1173"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2-2-16 127</p>	種別	規格	単位	日当たり作業量	平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所	2.0	高さ0.3m超	〃	1.25	湿地足場	〃	〃	1.0	〃	〃	1.0	傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	0.5	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5	地形傾斜45°以上～60°未満	〃	0.5	水上足場	水深 1m以下	〃	0.5	水深 3m以下	〃	0.5	水深 5m以下	〃	0.3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5	搬入路伐採等		0.5	1.0	環境保全(仮囲い)	1.0		1.0	<p>2-5-4 適用に当たっての留意事項 1. 単価は、ボーリング機設置撤去、機械分解組立を含むものとする。 2. 水上足場において、ボーリング設置撤去のために「とび工」が必要な場合、並びに水底の地形が傾斜しており、整地のため「潜水士」が必要な場合は、別途計上するものとする。 3. 水上足場は、作業船を含むものとする。 4. 水上足場は、河川・湖沼等波浪の少ない場合とし、海上の場合は、別途計上する。 5. 水上足場設置後に、作業現場までの移動に船外機搭載の船舶等を使用する必要がある場合についての移動費用については、別途計上する。</p> <p>2-5-5 日当たり作業量 日当たり作業量は下表を標準とする。 表2.5.3 足場仮設の日当たり作業量(設置・撤去)</p> <table border="1" data-bbox="1420 598 1993 802"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平坦地足場</td> <td>高さ0.3m以下</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>高さ0.3m超</td> <td>〃</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">湿地足場</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">傾斜地足場</td> <td>地形傾斜15°以上～30°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜30°以上～45°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>地形傾斜45°以上～60°未満</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水上足場</td> <td>水深 1m以下</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>水深 3m以下</td> <td>〃</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>水深 5m以下</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水深 1.0m以下</td> <td>〃</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-6 その他間接調査費 2-6-1 適用範囲 その他間接調査費は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <p>1. 市場単価が適用できる範囲 その他間接調査費のうち、準備及び跡片付け、搬入路伐採等、環境保全、調査孔閉塞、給水費(ポンプ運転)とする。現場条件等により、給水に係る運搬が必要な場合は別途計上する。また、試掘、舗装復旧、ボーリング泥水処理が必要な場合は別途計上する。</p> <p>2-6-2 編成人員 滞在費を算出するためのその他の間接調査費1業務あるいは1箇所当たりの編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1375 1077 1845 1173"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td>1.0</td> <td></td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">2-2-16 127</p>	種別	規格	単位	日当たり作業量	平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所	2.0	高さ0.3m超	〃	1.25	湿地足場	〃	〃	1.0	〃	〃	1.0	傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	0.5	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5	地形傾斜45°以上～60°未満	〃	0.5	水上足場	水深 1m以下	〃	0.5	水深 3m以下	〃	0.5	水深 5m以下	〃	0.3		水深 1.0m以下	〃	0.3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5	搬入路伐採等		0.5	1.0	環境保全(仮囲い)	1.0		1.0
種別	規格	単位	日当たり作業量																																																																																																															
平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所	2.0																																																																																																															
	高さ0.3m超	〃	1.25																																																																																																															
湿地足場	〃	〃	1.0																																																																																																															
	〃	〃	1.0																																																																																																															
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	0.5																																																																																																															
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5																																																																																																															
	地形傾斜45°以上～60°未満	〃	0.5																																																																																																															
水上足場	水深 1m以下	〃	0.5																																																																																																															
	水深 3m以下	〃	0.5																																																																																																															
	水深 5m以下	〃	0.3																																																																																																															
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																															
準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5																																																																																																															
搬入路伐採等		0.5	1.0																																																																																																															
環境保全(仮囲い)	1.0		1.0																																																																																																															
種別	規格	単位	日当たり作業量																																																																																																															
平坦地足場	高さ0.3m以下	箇所	2.0																																																																																																															
	高さ0.3m超	〃	1.25																																																																																																															
湿地足場	〃	〃	1.0																																																																																																															
	〃	〃	1.0																																																																																																															
傾斜地足場	地形傾斜15°以上～30°未満	〃	0.5																																																																																																															
	地形傾斜30°以上～45°未満	〃	0.5																																																																																																															
	地形傾斜45°以上～60°未満	〃	0.5																																																																																																															
水上足場	水深 1m以下	〃	0.5																																																																																																															
	水深 3m以下	〃	0.5																																																																																																															
	水深 5m以下	〃	0.3																																																																																																															
	水深 1.0m以下	〃	0.3																																																																																																															
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																																																																															
準備及び跡片付け	1.0	1.0	0.5																																																																																																															
搬入路伐採等		0.5	1.0																																																																																																															
環境保全(仮囲い)	1.0		1.0																																																																																																															